

図書館だより2月号



平成31年2月 愛媛県立新居浜工業高等学校 図書委員会

インフルエンザが流行し、朝晩が冷える日々が続いています。皆さん体調管理はいかがですか。さて、立春が過ぎ、校内にある梅のつぼみも咲き始め、やさしい春の香りを運んで来ています。山では鶯（うぐいす）が鳴き始める頃。春はもうすぐそこまで来ています。

ところで、2019年が始まり、来年の「東京オリンピック」に向け開催ムードが高まっています。そこで今月号ではテーマを「スポーツ」として、スポーツ選手の書いた本など図書室のおすすめ本を紹介します。今月末から学年末考査が始まります。気分転換にぜひ図書室に来て下さい。

スポーツに関するおすすめ本の紹介

★先日の全豪テニス大会でまたも優勝したジョコビッチが書いた本★

『ジョコビッチの生まれ変わる食事』 ノバク・ジョコビッチ：著 タカ大丸：訳

男子テニス界の絶対王者として君臨するジョコビッチ。一流選手は、食事にも細心の注意を払っていることがよくわかる本です。

★誰もが実践できるメンタル術が紹介されています★

『心を整える。』 勝利をたくり寄せるための56の習慣 長谷部 誠：著 幻冬舎

整理整頓は心の掃除に通じる。好きなものに心を委ねる。頑張っている人の姿を目に焼き付ける。注意は後腐れなく。監督の言葉にしない意図・行動を読む。迷ったときこそ、難しい道を選ぶな。参考になるヒントが満載です。

★写真・絵画集★

『日本スポーツ史1-3』 監修：寒川恒夫 編集協力：山田真市

編集協力者である山田さんが写真を撮り始めたのは1964年の東京オリンピックの時からでした。マラソンのアベベ選手が国立競技場に入ってくる姿を見て、将来はカメラマンになる気持ちを強くしたそうです。人間の喜び、悲しみ、美しさ、悔しさが、思わぬ形で表れる「筋書きのないドラマ」がスポーツであろう。（山田真市氏の言葉より）



『第17回冬季オリンピック リレハンメル競技大会日本選手』

産業経済新聞社・サンケイスポーツ

『第23回オリンピック ロサンゼルス競技大会 栄光の公式全記録』

全国体育指導委員連合

『第25回オリンピックバルセロナ競技大会』 産業経済新聞社・サンケイスポーツ

当時中学2年生だった岩崎恭子さんが“200メートル平泳ぎ”で五輪競技史上最年少の金メダルを獲得しました

『日本武術、武道大辞典』加来耕三（編）勉強出版

今年のNHK大河ドラマ

「いだてん」で活躍中です。

（柔道の普及と発展）より

講道館柔道の創始者、嘉納 治五郎（かのうじごろう） について紹介されています。

（質問） さて、この嘉納治五郎はどんなことをした人か知っていますか？

（答え） 1911年大日本体育協会（後の日本体育協会）を創立し初代会長に就任しました。1909年国際オリンピック委員会IOC委員として、日本のオリンピック大会参加に尽力しました。1912年第5回ストックホルム大会に選手2人を率いて初参加、さらに1938年第12回東京大会誘致のため、IOCカイロ総会に出席し、誘致を成功させました。しかし、帰途、太平洋上「氷川丸」船中で肺炎により死去。生前の功績を称えられ、勲一等旭日大綬章が授与されました。

数学科 日野豊樹先生 おすすめの一冊

『勝ち続ける組織の作り方』

青森山田高校サッカー部監督 黒田 剛 キノブック



今年の高校サッカー選手権大会で優勝した青森山田高校は、全国から優秀な人材の集まる強豪校です。しかし、最初から強かったわけではないし、雪などでグラウンドが満足に使えないことが多い環境など、ハンディキャップもありながらどうして勝ち続けるチームができるのか。その理由や指導者として見習うべきことがたくさん書かれた書籍です。

本書の中から、気になった言葉を紹介します。

- ① 「心」50%、「技」30%、「体」20% うまいだけでは勝てない。ハングリー精神があって、犠牲を払ってでも仲間のために行動でき、絶対に負けないという強い気持ちを持つ集団でなければいけない。
- ② 常に本番（試合）をイメージし、危機感や緊張感を体感しながら、トレーニングをしなければならない。
- ③ 近年「頑張り屋」は多いが「努力家」は少ない。得意なことには頑張るが、苦手を克服する努力が足りない。ウイークポイントを改善・克服することが本当の努力である。

（読書会報告）平成31年1月24日（木）午後4時から5時までの1時間、本校図書室において『君たちはどう生きるか』（吉野源三郎作）を読みました。参加生徒は図書委員と図書部員の合計15名及び教員3名、校長先生も見学くださいました。

